

# 佐々木 創主(53歳)が答える Q&A

(数々の質問の中より 10 項目を抜粋)

## Q.1：誰が市長になっても変わらないのでは？

A：変わります。たとえば会社更生法の適用を受けた企業がトップを替えることによって見事再生するように、トップの理念・意識次第で組織は変わり、市民サービスも変わります。

## Q.2：子供たちが安心して遊べる場所が少ないと思いませんか？

A：市の遊休地の活用、空き地の借用を行い、子供広場として活用します。

## Q.3：人口が減っていますが、何か対策はありますか？

A：「子育て・教育を受けさせるなら柳川」というまちをめざします。さらに歴史と文化に根ざした掘割景観に磨きをかけ「柳川に住むのが憧れ」といわれるまちづくりが重要で、併せて柳川を筑後南部の拠点にすることを目指します。

## Q.4：庁舎の業務が分散していて、不便を感じるのですが？

A：柳川庁舎に統合し、大和・三橋には現在地、もしくは、より良い場所に市民サービスの支所を配置し、利便性を向上させるべきだと思います。

## Q.5：現市長は、ピアス化粧品跡地に市民文化会館（市民会館）を建設したいと言われていますが、本当ですか？

A：本当です。H24, 12月の議会で断言されました。市の借金は450億円あり、29億円かけて建設する余裕はなく、当初の計画通り現在のものを7億円で改修すべきです。老朽化した橋の架け替え、市庁舎の耐震化など、市民の安全安心のための事業を優先すべきです。

## Q.6：何故、合併することになったのですか？

A：国が財政支出を減らす事と、市町村の自立を促す事を目的として市町村の数を減らしました。その合併推進の為、合併特例債と地方交付税の割増が行われたわけです。ただし、合併特例債といっても借金です。

### Q.7：学童保育は小学校3年生までですが、6年生までお願いできませんか？

A：出来れば拡大すべきです。ただし一方で、地域の大人が参加して子供を育む場作りを検討すべきだと思います。

### Q.8：“待ったなし”ってどう言う事？

A：柳川駅東口開発 100 億円の事業など数々の大型事業が行われています。柳川市の借金は 450 億円、国からの財政支援はあと 2 年で減らされます。限られた財源で何をするのか、いかに無駄を削り自立し、より市民に喜ばれる柳川に生まれ変われるのか「待ったなし」の状況です。

### Q.9：農・漁業に対する柳川の未来像は？

A：生産するだけでなく加工、商品化、販売もする 6 次産業化の直売所やレストランなどの観光とを結び、販路拡大を図るべきです。

### Q.10：観光地だと言われていますが、どんな観光地が望ましいですか？

A：柳川には、世界文化遺産に匹敵する水の文化があります。そして、北原白秋先生が「日照りしむ夕日の瀉」と詠んだ有明海の干瀉は、海の干潮と日没の時間が一致した時だけ見られる貴重な財産です。その水の文化と観光資源を大いに活用していきたいと思います。



※ その他たくさんのご意見、ご質問があると思いますが、興味のおありの方はインターネットのホームページをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/soshu/>

これまで通り 大盤振る舞いのハコモノ建設を続けますか？

市の借金は 450 億円 です。